

横浜市感染症発生動向調査報告 4月

《今月のトピックス》

- 性的接触によるA型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 第15週にてインフルエンザの報告数が定点あたり1.00を下回り、流行は終息しました。

◇ 全数把握の対象

〈4月期に報告された全数把握疾患〉

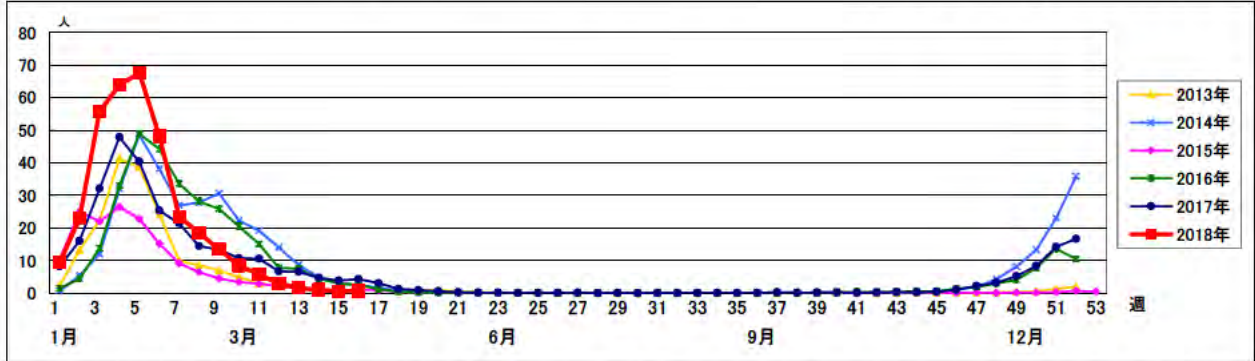
細菌性赤痢	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
腸管出血性大腸菌感染症	5件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	5件
E型肝炎	1件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1件
A型肝炎	5件	侵襲性肺炎球菌感染症	14件
デング熱	1件	水痘(入院例に限る)	2件
レジオネラ症	4件	梅毒	18件
アメーバ赤痢	4件	播種性クリプトコックス症	1件
ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	1件	破傷風	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4件	百日咳	5件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	—	—

- 1 細菌性赤痢:無症状病原体保有者の報告が1件ありました。バングラデシュでの経口感染と推定されます。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157の報告が3件、O111の無症状病原体保有者の報告が1件、O104の無症状病原体保有者の報告が1件ありました。O111はフィリピンでの経口感染と推定されます。
- 3 E型肝炎:国内での経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 4 A型肝炎:同性間の性的接触による報告が4件、経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 5 デング熱:フィリピンでの蚊からの感染と推定される報告が1件ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が4件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:インドでの経口感染、インドネシアでの経口感染、国内での詳細不明の性的接触による感染、感染経路等不明の報告がそれぞれ1件ずつありました。いずれも腸管アメーバ症でした。
- 8 ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く):タイでの異性間性的接触と推定されるB型肝炎の報告が1件ありました。
- 9 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:4件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病:家族性CJDの報告が1件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症:A群とG群の報告が1件ずつあり、感染経路等不明でした。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む):AIDSの報告が1件、無症状病原体保有者の報告が2件、その他の報告が2件あり、いずれも男性でした。4件は同性間性的接触で、1件は感染経路等不明でした。
- 13 侵襲性髄膜炎菌感染症:50歳代の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- 14 侵襲性肺炎球菌感染症:幼児で2件(ワクチン4回接種)、30歳代および40歳代が3件(ワクチン接種歴なし2件、不明1件)、60歳以上で9件(ワクチン接種歴なし3件、不明6件)の報告がありました。
- 15 水痘(入院例に限る):80歳以上の2件の報告があり、いずれも臨床診断例です。
- 16 梅毒:18件の報告(無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期8件、早期顕症梅毒Ⅱ期3件、晚期顕症梅毒1件)がありました。12件は国内での感染で、1件はインドネシア、5件は感染地域不明です。男性14件、女性4件でした。感染経路は、異性間の性的接触が8件、同性間の性的接触が1件、詳細不詳の性的接触が4件、感染経路等不明が5件です。
- 17 播種性クリプトコックス症:80歳代の免疫不全によると推定される報告が1件ありました。
- 18 破傷風:創傷感染と推定される報告が1件ありました。
- 19 百日咳:幼児の報告が4件(ワクチン接種歴あり3件、ワクチン接種歴不明1件)、40歳代の報告が1件(ワクチン接種歴不明)ありました。

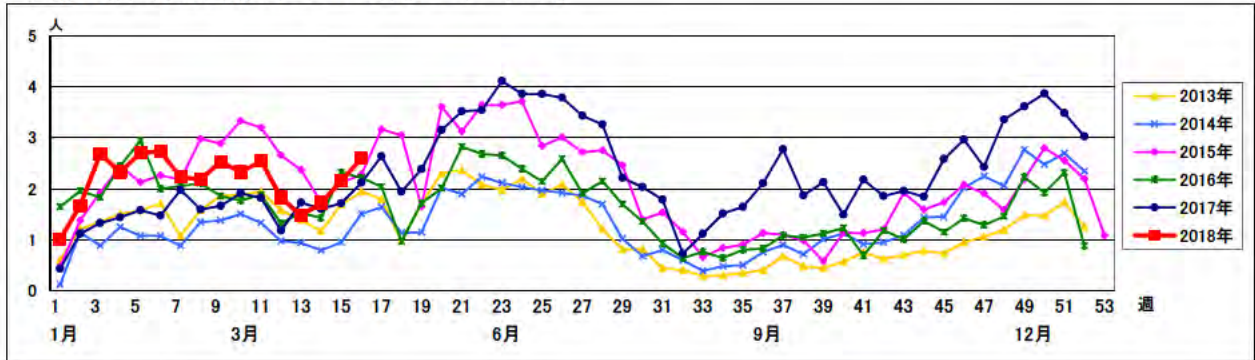
◇ 定点把握の対象

- 1 インフルエンザ:2017年第46週で1.01にて流行開始し、第51週で定点あたり14.19にて流行注意報発令基準値(10.00)を超え、2018年第3週で55.76となり、警報発令基準値(30.00)を超えました。第5週での67.58をピークとして漸減し、第10週では8.45となり、警報解除基準値(10.00)を下回りました。第15週にて0.55となり、現在は終息しています。

報告週対応表	
第11週	3月12日～3月18日
第12週	3月19日～3月25日
第13週	3月26日～4月1日
第14週	4月2日～4月8日
第15週	4月9日～4月15日
第16週	4月16日～4月22日



- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第16週では定点あたり2.60となっています。



3 性感染症(3月)

性器クラミジア感染症	男性:23件	女性:27件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:8件	女性:2件	淋菌感染症	男性:10件	女性:1件

4 基幹定点週報

	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1.00	0.33	0.50	0.50	0.50	1.00

5 基幹定点月報(3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件		—

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

4月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点44件、内科定点19件、眼科定点4件、基幹定点4件でした。

5月8日現在、ウイルス分離17株と各種ウイルス遺伝子11件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(4月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ ^{*1}	肺 炎	胃 腸 炎	り ん ご 病	R S 感 染 症	発 熱
インフルエンザ AH1N1pdm09型			2					
インフルエンザ AH3型			11					
インフルエンザ B型山形系統	1		2					
インフルエンザ B型ビクトリア系統			1					
ヘルペス								1
パラインフルエンザ	1							
ヒトパルボ B19						1		
ヒトメタニューモ		1		1				
RS		1					2	
ライノ	1		1					
ロタ					1			
合計	1 2	2	16 1	1	1	1	2	1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*1:疑いを含む

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

「菌株同定」の検査は、基幹定点からの依頼では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が2件、肺炎球菌、インフルエンザ菌が各1件、黄色ブドウ球菌の毒素、菌株同定と薬剤耐性精査が各1件あり、非定点からの依頼では、菌株同定が1件ありました。保健所からの依頼は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌が3件、腸管出血性大腸菌2件、肺炎球菌4件、劇症型溶血性レンサ球菌1件でした。

「分離同定」の検査は、基幹定点から百日咳菌1件(検出せず)、保健所からは、レジオネラ属菌の依頼があり、うち1件から *Legionella pneumophila* が検出しました。

「小児科サーベイランス」ではA群溶血性レンサ球菌が3件検出しました。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(4月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	黄色ブドウ球菌毒素	1	<i>Streptococcus aureus</i> 毒素不検出	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	2	<i>Enterobacter aerogenes</i>	
	基幹定点 インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> 型別不明	
	肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 6型	
	菌株同定と薬剤耐性精査	1	<i>Aeromonas hydrophila</i>	
	非定点 菌株同定	1	<i>Bifidobacterium longum</i>	
保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Enterobacter aerogenes</i>	
	腸管出血性大腸菌	2	O157:H7 VT1VT2、O157:H7 VT2	
	肺炎球菌	4	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 12型、型別不明	
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	G群	
分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関(基幹定点)	百日咳菌	鼻腔ぬぐい液	1	検出せず
保健所	レジオネラ属菌	喀痰	2	<i>Legionella pneumophila</i> SG1(1件)
小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	3	T1型、T4型、TB3264型	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】